

平成 30 年 湖西市議会 3 月定例会

市長施政方針説明

平成 30 年 2 月 22 日

(はじめに)

本日ここに、平成30年3月定例会が開催されるにあたりまして、『新年度に向けた市政運営に臨む基本的な考え方』と『主要な施策の概要』を申し上げ、市民の皆様をはじめ、議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

(1 市政執行の基本姿勢)

市長就任から、1年あまりがたちました。

就任以来『全力投球』をスローガンに、子育て・教育は『幸福度日本一のまち』、まちづくりは『人口減少に歯止めをかけ、活気あるまち』、福祉は『日本一おもいやりのあるまち』、防災は『いのちを守る』、産業は『エネルギッシュなまち』を目指すことをお約束して、市政の運営に取り組んでまいりました。

これらは、いずれも、重点事項として進めていくものであり、今般の平成30年度の予算編成においても、上述を常に念頭に臨んだところであります。

厳しい財政事情や、制度設計が必要など、一朝一夕にはいかない事

も多々ありますが、持前の行動力と、過去に財務省等で培った行財政の経験を発揮し、一步一步、着実に進めていくことを改めて自覚するとともに、今後も、初心を忘れることなく、『活気あるまちづくり』のため、さらに全力投球で市政の運営に邁進していくことをお誓いするものであります。

(2 平成29年度の振り返り)

市政運営の基本を述べるにあたりまして、まずは平成29年度を振り返ってみたいと思います。

最初に、市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、取り組んでおります防災・減災対策につきましては、

津波避難施設空白域に避難施設を整備するべく、住吉地区には命山、
ひがさき
日ヶ崎 地区には避難タワーの建設に着手し、命山は29年度中に、避難タワーにつきましては、30年度に完成させるよう進めております。

また、消防活動につきましては、第13分団の消防ポンプ自動車を更新し、救急医療体制においては、高規格救急車を更新し既に運用を開始しております。

次に、教育環境の整備につきましては、

新居中学校ガラス飛散防止事業は、9月に工事を完了させ、安全を確認しております。

また、保護者の子育てや社会参画を支援する開園日一時預かり、長期休園日一時預かりを継続実施し、入所待ち児童のうち、育児休業ができなかった方を対象に、入所が決定するまでの間、新居幼稚園の保育室で新たに緊急一時預かりを実施しました。

次に、自然と環境へ配慮した取り組みにつきましては、

浜松市に委託しているごみの焼却については、長期的なコスト比較と市民や事業者の方々へのサービス向上や災害時の対応など総合的に判断し、平成36年1月末の期間満了後は、本市単独での運営とする

ことといたしました。

また、衛生プラントは施設改修により新処理システムが稼働したことから維持管理業務の効率化を図るため、運転管理業務の包括的委託を行いました。

次に、快適で便利な暮らしを実現するための都市基盤整備につきまして、

歩行者の安全と利用者の利便性向上のため、都市計画道路鷺津駅谷上線の歩道未整備区間の用地測量業務に着手しました。

もとまち ぼうぜ

また、舗装長寿命化計画に基づき、市道元町坊瀬線舗装補修工事を実施しました。

浜名湖西岸土地区画整理事業におきましては、新たな工業団地を造成する土地区画整理事業を支援するため、現地測量業務を実施するとともに、平成31年度に市街化編入を行うための協議資料の作成に着手しました。

また、市内を南北に結ぶ幹線道路で、産業面や防災面でも活用が期待される都市計画道路大倉戸茶屋松線の実施設計及び用地・補

おおくら ど ちゃや まつ

償調査に着手しました。

次に、市民の健康づくりと子育て支援の取り組みにつきましては、

子どもの健全な育成及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費について、中学生まで無料化を拡充いたしました。

産婦人科医の誘致助成事業におきましては、日本周産期・新生児医学会の学術集会へ湖西市役所ブースを出展してのPRなどを行いましたが、残念ながら現時点では、応募がない状況であります。

引き続き各方面への働きかけを続けており、地元で安心して出産できる環境の整備に努めます。

次に、安定した生活を支える産業の発展と人材交流の取り組みにつきましては、

女性の活躍推進・再就職支援のための『各種セミナー』『キャリア相談』『企業見学会』『中小企業へのアドバイザー派遣』などを実施しました。さらに、シニア世代の活躍のための『ものづくり人材交流

事業』、商工会への委託事業として、『次世代産業コーディネート事業』に取り組みました。また観光関係では、浜松市と連携した浜名湖観光圏整備事業として『サイクリング、観光商品等のブランドづくり』『浜名湖DMOの設立準備』などを進めたほか、湖西市独自の『浜名湖おんぱくへの支援』『道の駅潮見坂やかき小屋など特産品のPR』を行いました。

最後に、安定した財源の確保と湖西市を全国に発信する取り組みにつきましては、

ふるさと納税推進事業におきまして、先の12月末までの9ヶ月で約3億7千万円の寄附をいただきました。ここから返礼品等の経費を差し引いた約1億4千万円を「ふるさと応援基金」へ積み立て、平成30年度予算に繰り入れてまいります。

また、公共施設について「施設総量の縮減、安全性の確保と機能の複合化、運営の適正化、広域的な活用」の4点を基本方針とする「湖

西市公共施設再配置基本計画」を基に、少子高齢化の進行による人口減少、社会保障費の増加等今後予想される厳しい財政状況の中、適正な公共施設の再配置を具現化する『公共施設再配置個別計画』を、現在策定しているところであり、あわせて歳出を抑制し、財源の確保を図っていくものであります。

湖西市を発信する取り組みにおきましては、豊田佐吉生誕150周年特別展として、「豊田佐吉と喜一郎展」を湖西市アメニティプラザのサブアリーナで共催し、県内外から5,910人の来場を頂き、受け継がれる「研究と創造の精神」を湖西市から発信をいたしました。

以上、平成29年度を振り返り、全国的にも人口減少、少子・高齢化が進む中、市長就任2年目を迎える平成30年度は、「職住近接」「稼ぐ力の強化」をキーワードとして、市民の皆様が安心して安全に日々生活することができる湖西市を目指し、職員とともに一丸となって全庁的に積極的に取り組んでまいります。

(3 平成30年度 予算案)

((1) 国の経済見通しと市の財政状況)

続きまして、平成30年度の予算編成にあたり、国の経済見通しであります。国はこれまでの政策により、企業収益は過去最高の水準となり、就業者数の増加、賃上げなど、雇用・所得環境は大きく改善し、経済の好循環が着実に回り始めており、先行きは海外経済の不確実性や金融市場の変動の影響を注視する必要があるが、経済の好循環が更に進展し、緩やかな回復が続くと見込んでいます。

そうした中、当市の状況におきましても、徐々にではありますが景気回復の兆しが見えてきているように感じるようになってはありますが、一方で、「広報こさい」などでもお知らせさせていただいたとおり、当市の財政状況は、現在、そして将来にわたり、非常に厳しいものがあります。

平成29年度の当初予算においては、9億6千万円もの財源不足から、その全額を財政調整基金の取り崩しにより調整したところであります。また、普通交付税は合併算定替の段階的な縮減により、平成

30年度と平成31年度は2億円ずつ減収し、平成32年度には交付されなくなります。

加えて、平成31年10月に予定されている消費税率10%引き上げに伴い、法人市民税法人税割の税率引き下げによる減収が見込まれており、平成33年度には、普通交付税の減収と合わせ、平成29年度より9億6千万円ほどが減収になると試算されるなど、さらに財源不足が生じる極めて厳しい状況にあります。

((2) 平成30年度予算案の姿)

こうした状況を踏まえ、平成30年度の予算編成におきましては、厳しい財政状況の中でも、「幸福度日本一のまちづくり」を目指すために、すべての事業において不断の見直しを実施し、限りある財源が効率的かつ効果的に配分できるように努めました。

特に、移住定住の促進、人口減少対策や活気あるまちづくりのために「職住近接」と「稼ぐ力の強化」をキーワードに、子育て支援の充実、産業の振興、観光・シティプロモーションの推進を重点事業とし

て、「限りある財源を効率的かつ効果的に」の考えのもと、予算を編成いたしました。

平成30年度当初予算額は、

一般会計	205億円
特別会計	102億9,477万7千円
企業会計	83億6,280万2千円
全会計合計で	391億5,757万9千円

となり、前年度と比較して2.1%、約8億3千4百万円の減額となりました。

一般会計においては、歳入の根幹となる市税の合計は、景気が回復傾向にあることから、前年度より若干増額となっております。

国庫支出金や市債につきましては、新所原駅周辺まちづくり事業や津波避難施設整備事業などの投資的経費の減額に伴い、前年度より減額となっております。

また、地方交付税の中の、普通交付税につきましても、合併算定替えの激変緩和期間の4年目を迎え、前年度より2億円の減額となっております。

歳出では、歳出全般にわたり事業の見直しを行い、歳入に見合う形で極力市民サービスの低下にならないよう、支出を抑えつつ、新たに高校生までの医療費を無料化するなど、新規事業も数多く計上しております。

財政健全化においては、健全な財政運営を堅持するという観点から、財政調整基金からの繰入金を前年度より、3.1%、3千万円を減額し、抑制を図りました。

また、地方債の発行におきましては、前年度より22%、2億円を減額し、抑制を図ることとし、あわせて地方債残高の減少に努めました。

本予算案について、今後の厳しい財政を見据え『歳入に見合った歳出構造』を意識し、市民の皆様が望む『今、必要な行政サービスの充実』と『将来にわたって魅力あるまちの実現』に向けての事業や諸施策のため、可能な限り予算を配分いたしました。

((3) 予算案「分野別の重点施策」)

次に新年度予算案であります。

私が掲げました『5つの旗』と、新・湖西市総合計画の『7つのまちの姿』に沿ってご説明申し上げます。

まず、1つ目の、「子育て・教育への支援による、幸福度日本一のまち」につきましては、新・湖西市総合計画「まちの姿1 ひとが育つまち」の中での岡崎幼稚園園舎耐震補強や新居幼稚園のこども園化改修の実施設計等を行い、こども園化を加速することで安心して当市の未来を担う子どもたちへの保育ができるように施設整備に努めてまいります。

また、生徒の安全・安心を確保するため、新居中学校外壁塗装改修事業にも着手してまいります。

さらに、「まちの姿2 ふれあいあふれるはつらつとしたまち」の中でのこども医療費助成事業におきましては、平成30年10月から高校生相当年齢まで医療費無料化を拡大いたします。

次に、2つ目の、「人口減少に歯止めをかけ、活気あるまち」につ
きましては、まずは、「まちの姿5 調和のとれた便利なまち」の中
での新所原駅周辺まちづくり事業におきまして、平成28年11月に
完成いたしました新所原駅南北自由通路なんぼくじゆうつうろと橋上きょうじょうえきしゃ駅舎に引き続き、
北口と南口の駅前広場を完成させるとともに、鷺津地区の主要道路で
あります都市計画道路 鷺津駅谷上線の歩道未整備区間を早期に解消
するための物件調査及び用地取得を行ってまいります。

また、「昼夜間人口差の解消及び定住化促進」につきましては、冒
頭に申し上げた「職住近接」をキーワードに、若い世代の方を中心と
した幅広い世代の皆様との意見交換の場を設ける等湖西市を魅力的で
にぎわいのあるまちにするための新たな施策展開に必要な調査研究を
進めるとともに、ファミリー世代の本市への移住を促進させていくた
めに、『新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金』として、婚姻
を機に市外から転入する世帯に対し助成を行います。

さらに、湖西病院につきましては、昨年12月に就任いたしました
杉浦病院事業管理者のもと、現在行っている経営診断の結果をふまえ、

市民からさらに愛される病院を目指し、経営改善を推進してまいります。

加えて、新市民会館等複合施設につきましては、候補地及び考えられる機能を今後お示しし、市民相互に意見交換を行い方向性を導き出す「市民会議」を開催し、建設に向けての議論を進めてまいります。

3つ目の、「日本一おもいやりのあるまち」につきましては、「まちの姿2 ふれあいあふれる、はつらつとしたまち」の中での高齢者福祉におきまして、地域包括ケアシステムのさらなる推進に努めてまいります。加えて、高齢者バス利用助成では、タクシー利用にも拡充し、利便性の向上を図ります。

また、「まちの姿5 調和のとれた便利なまち」の中での利用しやすい公共交通におきましては、通院や買い物などの利便性向上を図るため、デマンド型乗合タクシーの実証実験を白須賀地区において実施します。

4つ目の、「命をまもる防災」につきましては、「まちの姿3 安心して暮らせるまち」の中での地震対策事業におきまして、平成29年度に着手しました日ヶ崎地区津波避難タワーを完成させるとともに、
かみ だまち 引き続き上田町地区特定利用斜面保全事業の推進と、新たに高師
たかし
やま 山地区に津波避難施設の整備を進めてまいります。

5つ目の、「エネルギッシュなまち」につきましては、「まちの姿5 調和のとれた便利なまち」の中での組合土地区画整理事業への支援におきまして、浜名湖西岸地区土地区画整理事業の実現に向け、組合設立準備委員会に対して、測量・設計等の技術支援を行うとともに、道路改良事業において、国道1号浜名バイパス大倉戸インターチェンジから区画整理事業地へのアクセス道路ともなる都市計画道路大倉
おおくら
ど 戸茶屋松線の整備を推進し、新産業都市の構築を目指します。

また、「まちの姿6 産業の発展や交流による活力あふれるまち」の中での企業立地促進事業や中小企業支援事業、勤労者住宅建設資金

への支援等に力を入れてまいります。

特に、中小企業支援事業では、国の「生産性向上特別措置法」で進める、中小企業の実現のための設備投資等の施策に呼応し、市で固定資産税の特例を講じるなど、積極的に支援してまいります。

さらに、観光資源の活用による観光客の誘致促進として、「まちの姿6 歴史・伝統・文化を生きし次世代に継承するまち」の中での新居関跡保存整備事業おんなあらかめながやとして、女改め長屋 復元整備工事に着手し、伝統文化を活かし、湖西市に人を呼び込める施策を展開いたします。

また、これらの事業と併せて、市民の皆様の安全安心を守り、資源循環型社会を構築するため、「まちの姿4 自然と環境に配慮したきれいなまち」の中では、環境センターでのごみ焼却再開に向けての取り組みと平行して、平成10年に廃止した旧環境センターを解体し、ストックヤードとして整備に取り組んでまいります。

(4 むすび)

平成30年度一般会計予算案の主な取り組みについてご説明申し上げました。

今後も『社会保障経費の増加』や、『公共施設再配置等による施設の投資的経費の増加』が見込まれますが、市民の皆様とともに、中長期的な湖西市の将来ビジョンを描き、直面する課題に的確に対応し、就任2年目を迎える平成30年度におきましては、昨年度より更に「全力投球」してまいりますので、皆様方のご支援ご協力を賜りたいと存じます。

以上、平成30年度に向け、私の市政に対する基本的な姿勢を述べさせていただきました。

(了)